

トピックス **ぶらす**

1/30

発表を通して活動の輪を広げる

第6回登米市青年文化祭が1月30日、豊里公民館を会場に行われました。この大会は、日ごろの文化活動の発表を通して、活動の活性化を目的として開催され、通算で55回目の開催となった今大会は、市内の各青年会による郷土芸能や合唱などの発表のほか、大会企画として豊里町ゆかりの釜神様にちなんだ、巨大紙芝居の披露も行われました。



▲豊里町青年会による素晴らしい合唱の披露

2/1

大切な「いのち」について考える

南方環境改善センターで2月1日、いのちを考えるシンポジウムが開催されました。シンポジウムは司法書士の開発育子さん、仙台いのちの電話の田中吟子さん、佐藤医院院長の佐藤厚史さんをシンポジストに招き開催され、自殺に関する現状や接し方などについて学び、参加者全員で地域全体で支え合うことの大切さを確認しました。

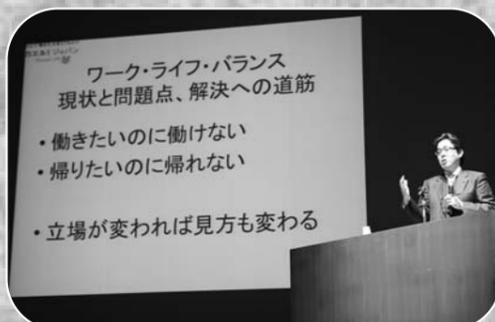


▲それぞれの視点から「いのち」について考えました

2/5

脳を活性化させる「男女共同参画」

男女が互いの人権を尊重し社会に参画する「男女共同参画社会」の実現を目指し2月5日、登米祝祭劇場で「登米市男女共同参画フォーラム」が開催されました。当日は「男女共同参画が脳を元気に」と題し、東北大学川島隆太教授による男女共同参画の重要性や仕事と生活の調和と脳の活性化の関係などについて、講演が行われました。



▲脳科学の観点から「男女共同参画」について講演

2/9

登米市産の仙台牛が海外へ

仙台牛をマカオ（中華人民共和国マカオ特別行政区）へ輸出する準備を進めてきた仙台市食肉市場で2月9日、初出荷式が開催されました。輸出される牛肉は、仙台牛の主産地である登米市産の牛肉が選ばれ、初となる今回は「仙台牛」約1頭分（320kg）および「宮城日高見牛」約1頭分（320kg）がマカオに向けて輸出されました。



▲仙台市長とともに初出荷を祝いテープカット

地域で新婚・受賞者を祝う

米山で新婚さんお祝い会 表彰受賞者祝賀会

中津山公民館で2月6日、平成23年新婚さんお祝い会・表彰受賞者祝賀会が開催されました。この行事は、平成22年中に結婚した米山地域の夫婦と春の叙勲・褒賞、宮城県文化の日表彰で受賞した人が対象で、地域のめでたい事を盛大に祝福しようと開催されたものです。会には新婚さん6組と受賞者2人が参加し、地元「清水バンド」による演奏会や婦人会による舞踊などのほか、カラオケやビンゴ大会などが行われました。新婚さんと受賞者の皆さんは、地域からの祝福を楽しみながら時間を過ごしました。



▲新婚さんを祝う会・表彰受賞者祝賀会に参加した皆さん

いきいきと暮らせる地域に

豊里鵞波地区で井戸端会議

農地・水・環境保全向上対策活動組織である鵞波きらり会主催の「鵞波井戸端会議」が2月12日、鵞波集会所において行われ、鵞波地域住民20人が参加しました。会議には市協働のまちづくり基本条例策定委員会の伊藤副委員長を講師に招き、協働のまちづくり推進プランや地域コミュニティについての講演が行われました。講演終了後には、グループごとに鵞波の「良い所」や「今後の課題」などについて意見交換が行われ、身近な地域についての意見が活発に出されるなど、有意義な井戸端会議となりました。



▲講話や意見交換会を通して、地域の良さを再発見できた会議

親子でチャレンジ！

登米児童館でたこづくり講習会

登米児童館で1月29日、冬の恒例のイベントになっているたこづくり講習会が開催されました。講習会には小学1年から5年生までの生徒と保護者約50人が参加し、たこづくりの名人の阿部さんと菊地さんの指導のもと、和紙と竹ひごを使い「ダイヤだこ」や「するめだこ」づくりに挑戦しました。参加した親子は、和紙に骨組みやたこ糸を貼り付けたり、絵付けに四苦八苦しながらも、親子ごとに思い思いのたこを完成させました。完成後には、慎重に糸目を調整しながら皆で試し揚げを楽しみました。



▲どの子ども自慢のたこを作ろうと一生懸命取り組みました